



図書委員会の仕事は、利用者の読書生活がより良いものになるようサポートすることである。ニーズに合わせた対応をすると共に、利用者に新しい視点を提供できるように努力していきたい。

(2B) 奈良 卓磨

## 図書館大改造

県立図書館副館長さんから学んだ

### 多くのの中から何を選ぶか

平成二十七年八月七日に秋田県立図書館で、学校図書館員等研修会が開催された。この会は学校図書館が抱える課題の改善と学校間の情報交換を目的としたもので、秋田県内の高校の生徒や先生、図書館職員を中心に行われた。

研修会が始まるとまず最初に各高校の図書館の写真をもとにどのように改善できるのかを講師の先生に指摘していただき、それについて話し合った。

そこで挙げられた多くの改善点の中で最も西高に持ち帰りたいと思ったのは、本の薦め方である。西高では現在およそ三万冊ほどの蔵書を保管している。他校と比べてもかなりの冊数である。

確かに、貸出冊数は課題を課せられることによって増加しており、多目的に図書館が利用されていることで来館者数も増加しているが、古い本が借りられない現状があるようだ。研修会に参加する以前は、古い本よりも新しい本を多く入れる方向で動いていた。しかし、研修会で話を聞いて、古い本を利用者に薦める対策を取る必要を感じた。

図書委員会の仕事は、

図書館  
来館者数  
7,510名  
平成27年4月  
平成28年1月

### 図書委員大活躍

今年度もたくさんの本を贈呈・購入していただきました。その一方で、廃棄しなければならぬ本も多くありました。本の廃棄作業は、一冊一冊の状態を丁寧に確認しながら進めました。本の厚さも様々で、辞書並みのものからパンフレットのような薄いものまで、それぞれを仕分けしながら一箇所にまとめ、委員会の活動時間内に、委員がみんな協力して終えるようにがんばりました。

また新たに三百冊を越える本が、西高図書館の仲間入りをしました。これらの本は、新書から小説まで幅広いジャンルの作品が揃っています。特に、小説では最近話題のものから著名なものまで興味深い作品が多いのでぜひ一度読んでみてください。

このように、今年度図書委員は本の廃棄と新刊の受入を中心活動しました。初めての仕事で、先生方に教えていただきながら作業を行いました。大変なことも多くありましたが、貴重な体験をすることができました。この経験を生かし、今後の委員会活動にも積極的に取り組んでいこうと思います。

(2C) 安田 有加

### 高校生のための文化講演会

平成二十七年九月九日休に行われた高校生のための文化講演会で、作家の清水義範先生が「日本語のおもしろさ」と題して、お話しくださいました。

#### 講演に対するアンケートから

今日の講演で印象に残ったことが二つあります。一つ目は「言葉は少しの違いでも大きく意味を変える」ということです。確かに言葉や文章でも主語が変わり、大きな誤解が生じてしまいます。だから私はきちんとした意味を伝えるための主語を意識したいと考えました。

二つ目は「言葉は時代の流れによって意味が変化する」ということです。現代では「夢」の意味は二つあり「寝てみる夢」「未来への希望」がそれです。しかし英語が入ってくる明治以前は「寝てみるもの」だけが夢の意味だったのですが、明治以降英語が生活に入り込むようになり「未来への希望」という意味が加わったという事実に驚きました。

現在の言葉遣いもやがては変化していくということに思いをはせると、とても興味深い内容であったと思います。これからは日本人として日本語を尊び言葉の使い方を意識し、丁寧に使っていければと思います。

(1C) 佐藤 利緒

### 第36代図書委員長から

● やりがいを感じた図書委員 一年の委員会決めの時に、図書館の雰囲気が好きだからという単純な理由で図書委員になったからそのまま三年まで続けてきました。私の高校生活の大半を占めていると言ってもあながち嘘ではない気がします。

一年の時は、右も左もわからない状態で戸惑いを隠し切れませんでした。その上、想像以上に膨大な量の仕事が次々と舞い込み委員会の先輩や先生、司書さんについていくのがやっとでした。しかし、二年では、読書会や他校の図書委員会との交流、文化祭での催し物など多岐にわたる活動を行う中で、アクティブでとてもおもしろい委員会だなどやりがいを感じることが多くなりました。

二年の後半に先輩が実質的に引退してからは、未熟ながらも委員長をしてきました。当初は本気で委員長としてやっていけるのか不安でしたが、同学年の図書委員の人たちを始めたくさんの人に支えていただきました。全員に理解してもらえよう伝える力や物事を考える力など委員会に入って身につけたことは私の糧となっています。とても感謝しています。ありがとうございました。

これを書きながら前二年分の館報を見返していました。こんなこともあったなあ...と一つ一つ思い出していくと、ほんの少し前の出来事なのに小学校のアルバムを見ているような気持ちです。本当に楽しかったです。改めて、ありがとうございました。

(3B) 中道 彩

## ★ 流星の絆

東野 圭吾著/講談社

この本はドラマにもなったので知っている人も多いと思います。三人兄弟が両親を殺害した犯人を探すべく、何年も謎を追い続けるミステリーです。気になった方はぜひ図書館にお立ち寄り下さい。

(1A 井上 愛優)

## ★ ニッポンの嵐

天野由美子著/株式会社M・CO

この本は嵐のメンバーが各都道府県を訪れ、各地の名所や食べ物をメンバーならではの形で紹介しています。今まであまり知らなかった「日本」をより詳しく知れます。ぜひ一度読んでみてください。

(1A 原田 彩音)

## ★ きみが見つける物語 雑の花

浅田 次郎著/角川文庫

この物語は東京・六本木にほど近い、今は西麻布と呼ばれる「霞町」の写真館に生まれ育った主人公と、凜とした美しさを持った祖母との大切な思い出を描いた感動作です。

(1C 石井 瑠夏)

## スクラップ・アンド・ビルド

羽田 圭介著/文芸春秋社

これは、18歳で小説家デビューした作家が、昨年芥川賞を受賞した本です。青年と、その老人とのやり取りがコミカルに書かれていて、「あるある」がたくさん見つかる読みごたえのある本です。

(2C 畠山 優希子)

## ★ きみが見つける物語

一門のある家—

星 新一著/角川文庫

無計画にお金を使いすぎて、祖父にお金を借りようとして、ある邸宅に立ちどまった主人公。一人の女性が主人公をその中へと誘う。青年はこの後どうなるのか、ドキドキする作品です。

(1C 三浦 理菜)

## 陽炎太陽

綾崎 隼著/メディアワークス文庫

主人公の大学生の男は昔好きだった「彼女」のことを心の片隅に残し彼女を作った。しかしある日、音信不通だった「彼女」が現れる。今ある愛と忘れられるはずもなかった愛の恋愛ミステリー。

(2B 清水 利咲)



## ★ ピンクとグレー

加藤 シゲアキ著/角川書店

芸能界を舞台に“成功と挫折”それぞれの道を歩む、親友同士の儂く切ない人生を描いた青春小説。二度と会うことのない人生を送るはずだった二人が再びめぐり逢った時、運命の歯車が回りだす。

(2B 三浦 早貴)

## 死亡フラグが立ちました!

七尾 与史著/宝島社

「死神」と呼ばれる殺し屋と、その正体を追う廃刊寸前のライターとの物語。しかし、そのライターもまた「死神」のターゲットとされてしまう。読みやすく面白いのでぜひ一度読んでみてください。

(1D 柏木 美玖)

## チョコレートコスモス

恩田 陸著/角川文庫

私がおすすめるこの本は、天才で人気役者の響子と芝居を始めたばかりの飛鳥があるオーディションに挑み、舞台の面白さや難しさを求めていく内容です。彼女たちの熱い戦いにドキドキします。

(2D 鈴木 琴乃)

## フランケンシュタイン

メアリー・シェリー著/新潮文庫

私が一番、感情移入したのは怪物の心でした。自分を醜く作った科学者を親として認め、他の人間に愛を持つが、誰にも愛されない、悲しみが伝わってきます。また、ヨーロッパの風景描写も素敵です。

(1E 石山 芽衣)

## 植物図鑑

有川 浩著/幻冬舎文庫

さやかが思わず拾ってしまったイケメンは、家事万能のスーパー家政夫のうえ、重度の植物オタクでした。名前しか知らされぬまま始まる風変わりな同居生活。ちょっぴりほろ苦い“道草”恋愛小説です。

(2E 真崎 聖菜)

★=図書館にあります

古本市のお手伝いをしてみて面白いと思ったことはお客さんの選んだ本を確認するときでした。漫画、小説、専門書、参考書など様々な本をみるのができました。その中でいくつか興味のある本を発見することができ、今度読んでみようと思えました。このように、誰かがいらなそうと思った本でもまた他の人が読みたいと思えば、その本が手渡されたいくのは素敵だなと思いました。

## 初めての仕事

私もよく本を読むのですが、読まなくなった本を今度、古本市に出してみようと思えました。古本を売るというのは、あまり経験がなかったので、とてもためになりました。今回のことを生かして、学校生活を送っていきたく思いました。

図書委員としての仕事もあと少ししかありませんが、今後もしっかり取り組んでいきたいです。

(1E 石山 芽衣)

※通年、古本を受け付けています。

## 予想以上!

た。貸出や返却をした人との接し方は笑顔でゆつくりはつきりと話すように心がけました。また図書カードの情報は記入間違いがないか確かめたり、本を本棚に戻す時は番号を確かめたりなどさまざまな仕事を頑張ることができました。

このように私は、図書委員の仕事は多くて大変だけれどもやりがいのある委員会だと思えました。だから私は二年生でも図書委員会に入りたいと思えました。

(1E 野呂 優華)

フロントデスク

# 私の読書生活

員編

地歴科の高橋学先生に  
聞きました

Q 高校時代の読書についてお聞かせください。

高校時代の読書量はさほど多いわけでもありませんので、限られた中から一つだけ紹介させていただきます。

私は世界中の民族・風習に興味をもっており、いつかは世界各国をめぐるたいと常々思っていました。そのような時、沢木耕太郎さんの「深夜特急」という本と偶然出会いました。沢木さん自身が路線バスでイギリスまで一人旅をして様々な出会いや経験をするというノンフィクション作品で

## アクティブ古典

(国語科 牧 留美子)

「大江山〜いく野の道の…」

「ハイ!」

「これ授業で出たよね?」

「あ、そうだ!」

2016年新春、図書館では200人一首大会の熱戦が繰り広げられた。聞いてみると、これが初めての百人一首体験、という生徒も少なくない。ならば、と授業で扱った作品、また一字まりの「むらきり」などなじみのある句を中心に、各自で鑑賞した後、いざ決戦となった。教室で静かに鑑賞することも趣深い。図書館に場を移し、カルタを通じて真剣に句と向き合うというのも生徒には印象深い経験になったようだ。中には上の句でパンパン札を手にする生徒もあり、生徒同士の交流と私自身の生徒理解においても有意義な時間となった。古典に苦手意識を持つ生徒が少なくない現状

だが、時に図書館でアクティブに古典の世界を追体験する試みも模索していきたい。



る戦術面などに面白さがあると感じています。

野村克也さんの著書は選手、指導者、経営者など幅広い視点で書かれており、非常に勉強になっています。本を読み、実践に結びつけることで、さまざまな視点から野球を見ることが少しずつできるようになってきたと思います。

Q 野球に関してどんな本を読みましたか。

私は野球が好きですが、学生時代に野球部に所属していませんでした。そこで、野球部の顧問となるにあたり、野球に関する本を意識して読むようにしてみました。野球の面白さはダイナミックなプレーはもちろんですが、バッテリーと打者との駆け引きや、場面や状況に応じてワンプレーごとに作戦が異なる

最近、好きな作家の作品や巷で評判になった本などを読んでいます。時間が空いたときなどに気軽に読める小説が多いです。池井戸潤さんの「下町ロケット」などの作品を読んで気分をスカッとさせています。

Q 印象に残っている一冊は何ですか。

山崎豊子さんの著作が好

きで、作品のほとんどを読みました。その中で「沈まぬ太陽」が印象に残っています。巨大企業内部の腐敗、真摯に仕事をしてきたサラリーマンへの会社の都合の打ち切り、大規模で衝撃的な航空機事故とその再生へ向けての努力などが描かれた長編小説です。主人公の仕事への誠実な姿勢が、社会や世の中の矛盾やからくりを浮き彫りにさせ、社会における真の正義とは何かということ考えさせられました。

また、実際に起こった航空機事故とその航空機会社の在りようを綿密に取材して作品を作り上げており、フィクションでありながらノンフィクションと感ぜさせる構成に引き込まれました。

私の読書生活は拙いものですが、その中でも刺激を受けることができました。

今後、作品のほとんどを読みました。その中で「沈まぬ太陽」が印象に残っています。巨大企業内部の腐敗、真摯に仕事をしてきたサラリーマンへの会社の都合の打ち切り、大規模で衝撃的な航空機事故とその再生へ向けての努力などが描かれた長編小説です。主人公の仕事への誠実な姿勢が、社会や世の中の矛盾やからくりを浮き彫りにさせ、社会における真の正義とは何かということ考えさせられました。

今後、作品のほとんどを読みました。その中で「沈まぬ太陽」が印象に残っています。巨大企業内部の腐敗、真摯に仕事をしてきたサラリーマンへの会社の都合の打ち切り、大規模で衝撃的な航空機事故とその再生へ向けての努力などが描かれた長編小説です。主人公の仕事への誠実な姿勢が、社会や世の中の矛盾やからくりを浮き彫りにさせ、社会における真の正義とは何かということ考えさせられました。

Q 高校時代の読書についてお聞かせください。

五十人以上も前のことなので記憶も定かではありませんが、学級文庫があり、それぞれ持ち寄った本を回し読みしていました。クラス全員でシュトルムの「みずうみ」という本を読み感想を言い合ったりもしました。ヘルマン・ヘッセの「車輪の下」や松下幸之助の経営哲学書「PHIP」も毎月読んでいました。八十才を過ぎてから松下政経塾を立ちあげ、人材を育てあげた立派な方です。「愛と死をみつめて」や石川啄木の詩集等もこの頃暗記したと思います。

Q 最近どんな読書のしかたをしていらっしゃいますか。

自分には負担のかからない短編で、わくわくするような笑えるような楽しい本を選ぶようになりました。帰宅してから一時間位と夜読む時もあります。楽しい本に出逢って家事をおろそかにすることもたまにありました。

## 司書室から

断捨離

今年度は、図書部・図書委員会が中心となって図書館運営をする方向がより強まった。新体制になるにあたって着手したのが、図書部・司書室・書庫の一大整理。春休みから連日、まずは年代物で不要なものを、各部署に確認しながら、慎重かつ大胆に廃棄。これにより、何がどこにあるかを把握できた。図書委員・清掃担当・技師さんには一方ならず、お世話になった。ありがとうございました。

司書室・書庫も開放

今年度は、生徒・職員の皆さんがより気軽に立ち寄りやすいように、図書部・司書室・書庫を今までになく開放した。図書委員は通常、お昼を司書室で食べるが、一般生徒も、お昼を持ち込んだり、勉強したり、よもやま話に花を咲かせた。また、ちよつとした会議や面談に利用したり、ジョン先生を囲んでの毎木曜日ランチ、体験活動推進委員会の毎週月曜日の企画で、抹茶やギターの親しんだり、英検の面接官養成講座、土曜日の韓国語講座など、多岐にわたって利用された。司書室や書庫には、古本市で購入されなかった本や、西高図書として正式には受け入れさ

Q 最近どんな読書のしかたをしていらっしゃいますか。

自分には負担のかからない短編で、わくわくするような笑えるような楽しい本を選ぶようになりました。帰宅してから一時間位と夜読む時もあります。楽しい本に出逢って家事をおろそかにすることもたまにありました。

Q 印象に残っている一冊は何ですか。

青山俊薫著「あなたに贈ることばの花束」冬の恋はきびしい寒気の中でかたくならずに柔らかくなる、不幸を嘆く青年に「木に年輪が刻まれるのは、寒い冬のお蔭で、寒さが厳しいほどに年輪は美しく刻まれる。人に年輪が刻まれるのは、辛いこと悲しいことに出会い、それを越えることができた時。」

霸王樹

食べる目的以外の植物に興味を持ち始めて、ある日気がつくと、司書室の片隅に、一滴も水をあげていないのに元気な植物がいる。生命力が尋常でない。畏敬の念さえ覚える。砂漠に育つ例のあの植物です。これで、タイトルの漢字の読みがお分かります。一度足をお運びください。パワーをもらえます。

(図書部 鎌田 洋子)

# 私の読書生活 生徒編

## 私が本を

### 読んできた理由

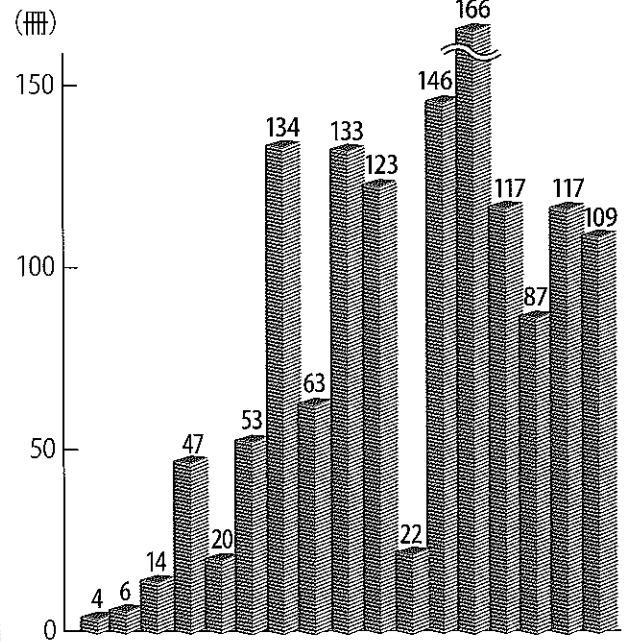
私はなぜ、本を読んできたのでしょうか。

小学校の高学年のとき、心も背伸びをしたいと思いましたが、読書は大人のすることだから私も仲間入りできると考えました。

本の中には、言葉を通して得たものは、文字で表されたいものとなっていて、思っています。

本は、言葉や文字によって私達の短い人生を何人分もの人生の重みにするような力を持ちます。知識だけではなく私達に他人の生き

## 平成27年度(4月~1月)貸出状況



職員一般 111112222233333  
ABCDEF ABCDEF ABCDEF

貸出数は、あくまで目安です。貸出が少ないから本を読んでいるというわけでは決してありません。借りずに図書館で閲覧している場合もあれば、自分で購入して読んでいる場合もあるし、県立図書館の副館長さんがおっしゃっていますが、電子書籍を利用している人もいます。2A・Cの場合は、授業の調べ学習で、図書館で読むことも多かったようです。

- 1, 2年生の1年間の 1位 進藤涼華(1D) 52冊 (H27.4~H28.1)**  
**2位 奈良卓磨(2B) 36冊**  
**貸出冊数上位3名 3位 安田有伽(2C) 19冊**

## 3年間(H26.4~H28.1) 借りた本の総数が多い生徒

- 1位 菊地 桃永さん(3C) 114冊**  
**2位 板倉 綾花さん(3D) 75冊**  
**3位 戸崎 明里さん(3E) 48冊**

★尚、3年間で200冊を超えた上位3人には、読書奨励賞として、賞状と図書券が贈呈されます。昨年度、今年度は、該当者がおりませんので、来年度に期待しています。

**行間を読む**  
 私は本が好きです。本を読みながら本の世界の時間や空間、登場人物、ストーリーを場面ごとに自分の中で風景や様子を描いていくことや、登場人物がとった言動の意味を考えていくことが好きです。

また、本を読むだけでなく図書館や本屋で興味が魅かれる本を探すことも好きです。たくさんある本の中で表紙や著書、その題名を眺めているうちに読みたいと思う本がたくさんできて、その本の世界やストーリーがどのようなかを考えると、読む日を楽しみにするなど本に思いを巡らせることが楽しいです。

本を読むことが好きな人も嫌いな人もいると思いますが、日々の生活の中で少しずつ本を読んで楽しさをもっと知り、今よりも本を好きになってほしいと思います。(3D 板倉 綾花)

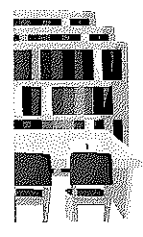
## 作家は面白い

読書すると語彙が増えるとか、読解力が身につくなど様々なメリットを耳にしますが、私は本を読む時に一度もそういうことを意識したことがありません。誰から教わるでもなく、昔から読書が好きで、ただそれだけの理由で私は本を読んでいます。

そんな私の読書の楽しみ方は、作家の言葉選びの中から共感できる点を探すことです。感じたことにはあるけれどわざわざ言葉にしなかった感覚や、それにふさわしい言葉を見つけることができないかった心の動きなど、作家は怖いくらいにすんなりと共感できる表現を

あてはめてきたりします。それを見つけると一つ賢くなれた気がするし、同じ感覚を味わったことのある人がいるんだと嬉しくなります。

本を読む理由は何でも良いと思います。映画がおもしろかったとか、気になる人が読んでいたとか。何となく活字を敬遠しがちな人も食わず嫌いにならずに軽い気持ちで一冊手に取ってみてはどうでしょうか。絶対に損はしませんし、案外あっさり世界が広がるかもしれません。(3E 戸崎 明里)



## 平成27年度 図書委員会公告簿

顧問 鎌田 洋子  
 牧 留美子

### 図書部

中村美也子  
 木村 夕香  
 河上 貴子  
 藤原 東  
 (司書教諭)

- |      |       |       |       |       |       |        |       |      |       |       |       |       |         |       |        |       |       |       |       |       |       |        |       |       |        |      |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|------|-------|-------|
| 3E   | 3D    | 3C    | 3B    | 3A    | 2E    | 2D     | 2C    | 2B   | 2A    | 1E    | 1D    | 1C    | 1B      | 1A    |        |       |       |       |       |       |       |        |       |       |        |      |       |       |
| 関 今井 | 佐藤 綾音 | 板倉 綾花 | 島山 美穂 | 岡田 水滸 | ○中道 彩 | 熊田 亜緒唯 | 真崎 聖菜 | 保坂 茜 | 船木 涼音 | 水澤 梨菜 | 鈴木 琴乃 | 安田 有伽 | ○島山 優希子 | 三浦 早貴 | ○奈良 卓磨 | 清水 利咲 | 澁谷 楓恋 | 加藤 千夏 | 野呂 優華 | 石山 芽衣 | 柏木 美玖 | 加賀屋 愛海 | 三浦 理菜 | 石井 瑠夏 | 工藤 瞭太郎 | 木村 恋 | 原田 彩音 | 井上 愛優 |
| ○委員長 | 和友    | 綾音    | 綾花    | 美穂    | 水滸    | 亜緒唯    | 聖菜    | 茜    | 涼音    | 梨菜    | 琴乃    | 有伽    | 優希子     | 早貴    | 卓磨     | 利咲    | 楓恋    | 千夏    | 優華    | 芽衣    | 美玖    | 愛海     | 理菜    | 瑠夏    | 瞭太郎    | 恋    | 彩音    | 愛優    |